



森の通信



自然と歴史の大発見
宮崎県総合博物館

Miyazaki Prefectural Museum of Nature and History

発行日/2017年9月20日

発行/宮崎県総合博物館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL(0985)24-2071
http://www.miyazaki-archive.jp/museum/ E-mail:hakubutsukan@pref.miyazaki.lg.jp FAX(0985)24-2199

特別展

日本刀の美と歴史 —— 日州刀の魅力 ——

國貞

kunisada

國廣

kunihiro

日本で刀剣が作られるようになったのは、古墳時代5世紀の頃からでした。主に直刀でしたが、平安時代中頃に刀身に反りのある日本刀が出現し、用途や戦法に応じて大きさや形が変わっていきます。明治9年(1876)の廃刀令以後も作刀の技術が伝えられ、現代まで引き継がれています。このような中で、江戸時代には国広くにひろ(現在の宮崎県綾町生まれ)が京都を拠点に活躍し、日向国ひゅうがのくににゆかりのある刀工が製作した刀剣である日州刀にっしゅうとうの評価が高まりました。

展覧会では、日本刀の歴史を紹介するとともに日州刀に注目し、現在でも人気の高い国広とその一門、国貞と井上真改親子の「重要刀剣」に指定された刀を中心に展示します。また、現代刀や刀装具、作刀と研磨技術に関する展示を行い、日本刀の魅力に迫ります。

平成29年 10月21日(土)~12月17日(日)

観覧時間/9:00~17:00(入場は16:30まで) 休館日:毎週火曜日

観覧料/一般500円 小中高生・未就学児無料

特別協力/公益財団法人日本美術刀剣保存協会協力団体宮崎県支部

刀「表銘…和泉守藤原國貞(草書銘)」
(重要刀剣 高鍋町美術館蔵)

刀「表銘…日州古屋之住國廣作
裏銘…天正五年十月吉日」
(本館蔵)

九州初公開!

特別展示(11/15(水)~12/17(日))

「吉田松陰形見の短刀」

アメリカ在住のティム新井氏から群馬県前橋市に寄託された吉田松陰形見の短刀は、日州刀の可能性があり。今回前橋市から特別に借用し、幕末の偉人である吉田松陰の短刀にまつわるエピソードなどを紹介します。(10/21(土)~11/13(月)は写真のみの展示)



吉田松陰

国立国会図書館
「近代日本人の肖像」より



佐々木恒春作
「桜九曜紋透金一重唐草
九曜紋縹子金象嵌鐔」
(本館蔵)



佐々木恒春作
「鉄地丸型桜破扇透象嵌鐔」
(本館蔵)

講座紹介

考古野外講座「新田原古墳群を歩く」

国指定史跡新田原古墳群のうち祇園原古墳群（新富町大字新田字東俣 前方後円墳14基・円墳188基・方墳1基）は日向地方最大規模の後期（6世紀）古墳群で、その代表的な古墳を歩いて見学する考古野外講座「新田原古墳群を歩く」を11月3日（金）に行います。

主な首長墓である前方後円墳は5世紀前半の大久保塚古墳（墳長92m）、6世紀前半の百足塚古墳（82m）、6世紀後半の弥五郎塚古墳（94m）です。特に百足塚古墳（今から1,500年前）は、平成9年度からの新富町教育委員会の発掘調査で西側周堤から家・柵形埴輪、甲冑・盾・大刀・太鼓形の器財埴輪、椅子座りの男性・巫女・盾持ち人・力士などの人物埴輪、馬・鶏・鹿・犬形の動物埴輪などの種々な形象埴輪が出土しました。継体大王の墓と推定されている今城塚古

墳（大阪府）の周堤の埴輪祭祀との高い共通性が指摘され、内部主体は県内最古の可能性のある横穴式石室であることから、日向全域を支配する盟主墳と考えられます。祇園原古墳群は県内で最も多彩な形象埴輪を出土しており、百足塚古墳は古墳公園として整備されました。

募集期間は10月6日（金）から10月20日（金）です。ぜひお申込み下さい。（長津）



百足塚古墳発掘調査風景（平成12年2月）

宮崎の歴史

カップ祭り

日向市秋山区では、毎年7月24日（現在は7月24日に近い日曜日）に、カップ祭りが行われています。

地元には、赤岩川上流のナガトロ淵に住むカップが馬を引き込もうとしたが、逆に馬がカップを引きずったまま馬小屋に戻り捕らえられ、逃がしてもらう代わりに証文を書いたという話が伝わっています。また、中野寺の住職が、庄屋と話し合って釘を使っていない小舟を作り、小石に光明真言の23文字を書き、お供え物を入れて川に流したことが祭りの由来とされています。中野寺の住職を祭主に、地区の区長などの役員が時坊主になり、地区内の住民が宿主となって祭りは行われます。現在は、地区内の住民が少なくなるなど継承が危ぶまれましたが、祭りに



参加する地区を広げたり、宿主の負担を減らしたり、祭りの日を日曜日に変更するなどして祭りを続ける努力がなされています。

もともとは、川祭りという水難防止の行事があったのですが、地域おこしのために平成10年にカップ像を作り、その時から祭りの名称をカップ祭りに変えたそうです。（小山）

自然史展示室紹介

キノコの発光体験装置

自然史展示室の照葉樹林シアターの横には、キノコの発光体験装置が置かれています。この体験装置は照葉樹林に発生する「シイノトモシビタケ」と「アミヒカリタケ」の発光の様子を観察することができます。シイノトモシビタケはキノコ全体が光り、アミヒカリタケは柄だけが発光するという特徴があります。これらは照葉樹林のキノコで、両種とも本県での発生が確認されています。

どちらとも傘の直径が1～1.5cmほどの大きさです。シイノトモシビタケは茶色系で、発生する倒木と似た色をしているため、昼間は見つけにく

いキノコです。しかし、夜に観察すると、少し離れたところからでも発光の様子がわかるほどの発光力があります。

この2種類の発光の様子が同時に観察できる装置は、全国でも総合博物館だけの展示となっています。(黒木)



アミヒカリタケ (左) とシイノトモシビタケ (右)

収蔵資料紹介

ホンドキツネ骨格標本

北国のイメージが強いキツネですが、宮崎県内にも生息しています。とがった鼻先が特徴的で、昔話にもよく登場する動物です。夜行性で、外敵や人間がいないと昼間でも活動します。ネズミやカエル・トカゲなどを中心に食べる肉食性ですが、果実も食べます。獲物が少ないと、農作物を荒らしたり、ニワトリを襲ったりすることがあります。宮崎市内の砂浜では、アカウミガメの卵を掘り返して食べることも記録されています。巣穴は

子育ての時期だけ使い、普段はやぶの中や木や岩の影などで眠ります。総合博物館では、病気や事故等で亡くなった動物をはく製や骨格標本にしています。はく製と骨格標本を並べてみると、体の構造がよくわかります。(横倉)



利用者からの問合せ

宮崎から恐竜の化石は見つからないの？

宮崎県内で恐竜の化石が見つかったという報告は、まだありません。しかし、恐竜が生きていた時代の後期三畳紀から白亜紀の地層は高千穂町、五ヶ瀬町、椎葉村を中心に分布しています。五ヶ瀬町からはシダ植物クラドフレビスなどの化石が見つかったので、これらを食べていた植物食恐竜の化石が見つかるかもしれません。また、河口付近などの環境で生息する二枚貝ハヤミナの化石も産出しており、洪水などで運ばれて埋も

れた恐竜の化石がハヤミナと同じ地層から見つかる可能性があります。



クラドフレビスの化石

ただし、見つかるのであれば歯や指の骨など、化石のごく一部分でしょう。地層の中から恐竜の歯1本を見つけ出す観察力と根気があれば、これを読んでいるあなたが恐竜の第一発見者になるかもしれませんね！(濱田)

博物館からのお知らせ

博物館講座

10/22 日曜日 出張講座 「チリモンGO！」 ちりめんに含まれる小さな海の生きものたち（チリモン）を探し観察することで、宮崎の海の豊かさを学習します。  時 間 10:00～12:00 定 員 25名 対 象 小学生以上 場 所 小林高校（小林市） 募集期間 9月24日㊥～10月8日㊥	10/29 日曜日 宮崎の歴史を学ぶ2 資料を読みながら、歴史の見方・考え方を学び、宮崎の歴史認識を深めます。  時 間 13:30～15:00 定 員 40名 対 象 一般 場 所 研修室1 募集期間 事前申込みなし	11/3 金曜日(祝) 考古野外講座 「新田原古墳群を歩く」 国指定史跡新田原古墳群を徒歩で回り、新富町と周辺の歴史を学びます。  時 間 10:00～12:00 定 員 30名 対 象 小学生以上 場 所 新田原古墳群(新富町) 募集期間 10月6日㊥～10月20日㊥	11/18 土曜日 楽しいどんぐり講座 神宮周辺で拾えるどんぐりを中心に「どんぐりクラフト」を作りながら、どんぐりについて学習します。  時 間 10:00～12:00 定 員 12組 対 象 未就学児 場 所 研修室1・神宮の森 募集期間 10月21日㊥～11月4日㊥
11/19 日曜日 青島で鬼の洗濯岩を観察しよう 青島を散策しながら、青島の地形や地層、岩石などを観察します。  時 間 10:00～12:00 定 員 20名 対 象 小学生以上 場 所 青島(宮崎市) 募集期間 10月22日㊥～11月5日㊥	11/26 日曜日 これからはじめるバードウォッチング 初心者のための野鳥観察講座。神宮の森で野鳥観察の仕方を学びます。  時 間 10:00～12:00 定 員 30名 対 象 幼児以上 場 所 研修室1・神宮の森 募集期間 10月29日㊥～11月12日㊥	12/2 土曜日 佐土原人形絵付け体験 県の伝統的工芸品である佐土原人形の絵付けの体験をします。  時 間 13:00～15:30 定 員 20名 対 象 小学生以上 場 所 研修室1 募集期間 11月4日㊥～11月18日㊥	12/3 日曜日 【特別展開連講座】 宮崎の歴史を学ぶ3 「日本刀の魅力～千年輝く、美の日本刀」  時 間 10:30～12:00 定 員 40名 対 象 一般 場 所 研修室1 募集期間 事前申込みなし

講座の申込みは、次の方法で受付けます。詳細は、博物館にお問合せください。

①はがき②FAX③ホームページ④来館時に総合案内 お問合せ先 TEL 0985-24-2071 FAX 0985-24-2199

展示解説員の声

草花あそび

自然史展示室の「ふるさとの自然」のコーナーには、「草花あそび」の展示があります。

ここでは、花の首飾りや竹鉄砲など、野外で遊ぶ子どもたちが使う身近な草花や実を展示しています。オオバコやスミレの草ずもうは経験があるのではないのでしょうか。竹鉄砲の弾に使われたヤツデ、エノキ、リュウノヒゲの実もここで見ることができます。

ほかにも近くには「ふるさとの小動物」としてザリガニやカエルなどの模型展示もあり、「懐かしい」「子どもの頃遊んでいた」とのお話を、特にご年配のお客様から耳にします。ぜひご覧ください。(西脇)



観覧時間・休館日のお知らせ

観覧時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
 休 館 日 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)
 ★12/28㊥～1/4㊥は、年末年始のため休館します

博物館のホームページにはイベント情報、寄せられた質問とその答え、過去の「森の通信」、Facebook、ツイッターなどの情報が盛りだくさんです。ぜひアクセスしてみてください。

宮崎県総合博物館

検索